

科目名	ビジネスコンピューティング 2							年度	2025
英語科目名	Business Computing 2							学期	後期
学科・学年	医療事務科 2年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	内田信子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		PCインストラクター		
【科目の目的】 Office製品の活用方法について理解することを目指します。									
【科目の概要】 業務で活用するため、Word、Excel等のOffice製品を統合的に学びます。 その際、パソコン活用 1 にて学習したことを踏まえ、業務に即した様々な問題に取り組みます。 授業のはじめに問題に対する説明、その説明に沿った問題を演習課題として行います。									
【到達目標】 A. ビジネス文書の原則に則って、Wordにてビジネス文書を作成する方法を理解している B. Excelにてブックやシートの操作を理解している C. Excelの関数を理解している D. Excelにてピボットテーブルやマクロを理解している E. アプリケーション間のデータの連携を理解している									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合もある。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル 2 あと少し	レベル 1 要努力				
到達目標 A	原則に則ってビジネス文書を作成する方法を理解し、正しく作成できる	原則に則ってビジネス文書を作成する方法を理解し、概ね作成できる	原則に則ってビジネス文書を作成する方法を理解している	原則に則ってビジネス文書を作成する方法を理解していない	原則に則ってビジネス文書を作成する方法を理解しようとする姿勢がない				
到達目標 B	ブックやシートの操作を理解し、正しく操作できる	ブックやシートの操作を理解し、概ね操作できる	ブックやシートの操作を理解している	ブックやシートの操作を理解していない	ブックやシートの操作を理解しようとする姿勢がない				
到達目標 C	関数を理解し、正しく利用できる	関数を理解し、概ね利用できる	関数を理解している	関数を理解していない	関数を理解しようとする姿勢がない				
到達目標 D	ピボットテーブルやマクロを理解し、正しく操作できる	ピボットテーブルやマクロを理解し、概ね操作できる	ピボットテーブルやマクロを理解している	ピボットテーブルやマクロを理解していない	ピボットテーブルやマクロを理解しようとする姿勢がない				
到達目標 E	アプリケーション間のデータの連携を理解し、正しく操作できる	アプリケーション間のデータの連携を理解し、概ね操作できる	アプリケーション間のデータの連携を理解している	アプリケーション間のデータの連携を理解していない	アプリケーション間のデータの連携を理解しようとする姿勢がない				
【教科書】 必要に応じてプリント資料を配布									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 試験、課題、小テスト等を総合的に評価									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

